

鳴門市名誉市民

第四号 おおつかあきひこ
大塚明彦氏



* * * * * 事 績 の 概 要 * * * * *

大塚明彦氏は、昭和12年、板野郡撫養町（現 鳴門市撫養町）に生まれ、昭和35年、大塚製薬工場（現（株）大塚製薬工場）に入社後、昭和51年6月に大塚製薬（株）代表取締役社長に就任し、同社をはじめ、（株）大塚製薬工場、大鵬薬品工業（株）などの社長等を歴任。平成20年に設立された大塚ホールディングス（株）では代表取締役会長として東証第一部に上場を果たし、大塚グループを平成26年3月末時点で国内外26ヵ国、165社を超える大企業にまで育て上げました。

昭和43年、世界初の一般向け市販レトルト食品として発売された「ボンカレー」の発案や昭和55年に発売された清涼飲料水「ポカリスエット」、昭和58年には栄養食品「カロリーメイト」など機能性飲料・食品を開発するなど、卓越した創造性と先見性を発揮し、経営規模を拡大。本市経済の発展のみならず、徳島県や日本の経済成長に大きく寄与されました。

また、点滴用の輸液が中心であった医療品部門の研究開発に力を注がれるとともに、海外にも積極的に研究体制の拡大を図り、人々の健康増進に尽力されました。

さらに、企業の社会貢献活動として、サッカーJ2徳島ヴォルティスの前身である大塚FCの強化にも取り組まれ、本市のスポーツ発展や地域活性化に大きく貢献されました。

平成12年6月には日本最大の延べ床面積を持つ私立美術館である大塚国際美術館の館長に就任し、システィーナ歌舞伎や将棋の王将戦など、美術館の範疇を超えたトップレベルの文化イベントの創造にも力を尽くされ、本市の文化及び観光の振興に寄与しました。

大塚明彦氏の略歴

昭和12年	7月21日	板野郡撫養町（現 鳴門市撫養町）に生まれる
昭和35年	3月25日	中央大学工学部 卒業
昭和35年	3月 1日	大塚製薬工場（現（株）大塚製薬工場）に入社
昭和51年	6月29日	大塚製薬（株）代表取締役社長に就任 グループ各社、大塚食品工業（株）（現 大塚食品（株））、（株）大塚製薬工場、アース製薬（株）、大塚倉庫（株）、大鵬薬品工業（株）、大塚電子（株）、大塚リッジ（株）、大塚化学（株）、大塚ホールディングス（株）、大塚アメリカフーズ Inc.、大塚化学ホールディングス（株）（現 大塚化学（株））、大塚メディカルデバイス（株）の代表取締役等を歴任
昭和51年	7月12日	日本製薬工業協会理事（18年8カ月）
昭和53年	4月 1日	日本医薬情報センター理事（20年）
昭和54年	4月 1日	徳島県製薬協会副会長（20年）
昭和57年	6月 5日	日本製薬団体連合会監事（12年11カ月）
昭和61年	5月28日	東京医薬品工業協会理事（8年10カ月）
平成 元年	11月22日	徳島県保健環境部長表彰（薬事功労）を受賞
平成 2年	11月27日	徳島県知事表彰（薬事功労）を受賞
平成10年	10月20日	JAPIC 評議員（4カ月）
平成12年	6月 5日	大塚国際美術館館長に就任
平成19年	3月31日	ローマ教皇庁より「聖シルベストロ騎士団長勲章」を受章
平成26年	11月19日	フランス政府より 「レジオン・ドヌール」勲章（オフィシエ）を受章
平成26年	11月28日	大阪市内の病院にて逝去
平成27年	1月26日	徳島県民栄誉賞を授賞
平成27年	2月20日	鳴門市名誉市民の称号が追贈される